



鰐陵文化祭の代替行事が行われました！



9月7日(月)～10日(木)の放課後に、新型コロナウイルスの影響で開催が延期となっていた鰐陵文化祭の代替行事が行われました。例年とは異なり、クラスパフォーマンスや大相撲等のクラス対抗の種目は開催できませんでしたが、「吹奏楽部コンサート」・「書道部パフォーマンス」・「美術部の作品展示」の発表がありました。校内のみでの発表のため、保護者や一般の方は見学できない形となりましたが、多くの本校生徒が見学し、大いに盛り上がりました。

< 生徒の感想 >



●SGO(石高グランドオーケストラ)の音楽を皆さんに届けることができ嬉しかったです。全学年揃っての演奏は今年度に入って今回が初めてでしたが、3年生の先輩方と一緒に演奏することができ、部活として今年度1番の思い出になりました。また、今回の行事を通して、吹奏楽部という部活は私たちプレイヤーだけでなく演奏を聴いて下さる方々がいてこそ成り立つものだと再認識しました。これからも皆さん、特に先輩方に私たちの成長を感じてもらえるような演奏ができるよう、1日1日の練習を大切にしていきたいと思います。
吹奏楽部部長 2E 高橋小紅

●発表日当日まで、ひとつのテーマに添って今私たちが強く伝えたいことを文字に起こし、どのようなデザインで表現したら良いか構想を考えました。皆で息を合わせて「書く」ということが1番の課題でしたが、これまでで最も良い書道パフォーマンスになったと思います。特に、1年生にとっては初めてのパフォーマンス披露でしたが、無事に成功し、これからの書道パフォーマンスにさらに気合いが入りそうです！県展や全国学生書道展等の作品展が間近に迫っていて、新しい字体に挑戦する部員も多くなります。時間が少ない中ですが、それぞれがより良い賞を取れるよう、作品制作に励んでいきたいです。
書道部部長 2A 阿部史佳



●美術部として作品を発表する場が無かったので、今回展示することができてとても嬉しかったです。たくさんの生徒や先生方に美術部の活動を知っていただける良い機会になったと思います。人数が少なく、部員全員が集まることのできない日もあり、遅くまで残っての制作でしたが、協力して看板・顔出しパネル、展示品等を作りました。1月に予定されている県の展覧会に部員全員で出品することが今の目標です。個人作業なので、自分一人で作業を進めなければいけない大変さもありますが、全員の作品を出品したいです。
美術部部長 2F 木村みのり



ネット利用の正しい方法と薬物について学びました。

9月3日（木）に全学年を対象としてネット利用に関する講演会が校内放送にて行われました。携帯電話やSNSによるトラブルを未然に防ぐため、ネット利用の正しい方法等について本校の図書情報部の教員が話をしました。誹謗中傷やSNSの活用方法等、生徒にとっても身近に感じられる話題を扱い、とても分かりやすい内容でした。

また、9月10日（木）に全学年を対象として危険ドラッグに関する講演会が校内放送にて行われました。青少年が薬物乱用の有害性や危険性について正しい知識を持ち、薬物乱用を拒絶する規範意識を向上させることを目的としています。石巻薬剤師会専務理事の丹野佳郎氏を講師としてお招きし、『薬物なんかで未来を失うな。いつだって君たちが思うより世界は輝いている』というテーマで約1時間お話をいただきました。「薬」と「薬物」の違いや、薬物の害や作用について等、大変貴重なお話を聞くことができました。



速報！ 生徒会長・応援団長決定！

9月24日（木）に生徒会長と応援団長の演説会・投票が行われました。今年度は例年とは異なり、演説会を放送で、投票を各教室で行いました。生徒会長には2年E組の菱沼輝君が選出され、応援団長には信任投票の結果2年C組の高橋秀色君が選出されました。

2人の演説の内容を一部抜粋して掲載します。



●自分の持っているリーダーシップを発揮し、責任ある行動をすることで、生徒会活動を活発にします。また、生徒ひとりひとりと積極的にコミュニケーションをとり、充実した学校生活を送ることができるような環境づくりに励みたいと思います。…

2E 菱沼輝

●新型コロナウイルスの影響で解散の危機にある応援団を存続させたいです。何事にも熱心に取り組み、振り付けなどを覚えていきたいです。…

2C 高橋秀色

授業で培った英語力を存分に発揮しました。

9月12・19・26日の土曜日に、英語体験学習『アナタと私といしのまき』が開催され、希望した生徒が各日約10名参加しました。英語による実践的・体験的な学びの機会を設けることで言語能力の向上を図り、国際的な視野を広げることや思考を深めることを目的としています。インド出身で石巻グランドホテルに勤務しているマーティン・ラジャシンさん、アメリカ出身で牧師のチャック・ロブさん、香港出身で絆フレンズサポートスタッフのアン・リン・中橋さんが各日ボランティアでゲストとして協力して下さいました。オンラインを活用し約1時間、ゲストの方々が進んで訪れた国や各国の日本との違い、将来の夢や幸せとは何かについて等インタビューを行いました。参加した生徒は少し緊張した様子でしたが、外国の方々とは英語で話すという大変貴重な体験をし、有意義な時間を過ごすことができました。

